

STEP2

基礎

時制の基本用法



3

時制
(1)

1 現在を表す

現在形という名前は形のことを指しているだけであり、必ずしも今現在のことだけを指すわけではない。個々の例を見ながら、どのような意味なのかを考えていこう。
この単位では、現在形と現在進行形を扱う。

1 現在形

- | | |
|---|----|
| ① She is a student at a girls' school. 彼女は女子校の生徒だ。 | 49 |
| ② I get up at 6 o'clock every morning. 私は毎朝 6 時に起きる。 | 50 |
| ③ The teacher <i>told</i> the children that water freezes at 0°C . | 51 |
- 先生は子どもたちに水は 0 度で凍ると教えた。

現在形が表すのは、基本的に次の 3 つ。

《1》現在の状態

一定期間続いている〈現在の状態〉を表す。
状態動詞が使われる。

類例 I **live** in Tokyo. 私は東京に住んでいる。

I **believe** your innocence. 君の潔白を信じています。

I **like** to play soccer. 私はサッカーをするのが好きだ。

My dog **understands** my feelings.

私のイヌは私の気持ちがわかっている。

She **knows** a lot about American music.

彼女はアメリカ音楽のことをよく知っている。

現在形の基本



- 《1》状態
- 《2》習慣的動作
- 《3》不変の真理・事実



《2》現在の習慣的動作

ある程度繰り返し行われる〈現在の習慣的動作〉を表す。動作動詞が使われる。

類例 Ken usually **leaves** home at seven. 健は普段 7 時に家を出る。

※現在進行形との違い

When I **go** to school, I **take** the train. 学校に行くときは列車を使っています。

I **play** volleyball at the gym on Fridays. 私はいつも金曜には体育館でバレーボールをする。[「私は体育館で今バレーボールをやっている」という意味では、play を進行形にして、I **am playing** volleyball at the gym. とする必要がある]

【!】 「…している」という訳に引きずられると〈現在の習慣的動作〉という感覚をつかめないで、注意が必要。例えば、「…います」を含んだ「ジョンは東京のある会社に勤めています」を英語で表現すると *John works for a company in Tokyo.* であって、*John is working for a company in Tokyo.* では「一時的に勤めている」ことを意味することになってしまう (▶ p.71; 2-1)。

【!】 現在の習慣的動作を表す場合、*always, often, usually, sometimes, never, once a month* など、頻度を表す副詞 (句) が用いられることが多い。
My parents often go to the movies. 私の両親はよく映画を見に行く。
My sister takes a violin lesson once a week.

3

時制
(1)

英語の原理 ことわざ・格言など

現在形が使われるのは、一般的にどの時代においても通用する
真理・真実を語っていると考えられるからである。

Ignorance **is** bliss. 知らぬが仏。

Time **flies**. 光陰矢のごとし。

Necessity **is** the mother of invention. 必要は発明の母。

Strike while the iron is hot. 鉄は熱いうちに打て。



※以下の例は、その内容是不変の真理であるが、「ローマが築かれたという事実は過去の
ことである」ので、過去形が用いられている。

Rome **was** not built in a day. ローマは1日にして成らず。

英語の原理 現在形の示す「地点」

現在形が示すのは、「今ここ」のピンポイントではない。「今」を含んで〈過去〉から〈未
来〉に広がる（一定の）時間の幅を表している。

《1》現在の状態=ある状態が〈過去〉の時点から始まって今、そして〈未来〉へと続く。

《2》現在の習慣的動作=ある行為が〈過去〉から今を経て〈未来〉に
わたって繰り返される。

《3》不変の「真理」や「事実」である状態や動作=〈過去〉から今を
経て〈未来〉にわたって変わらずに通用する。



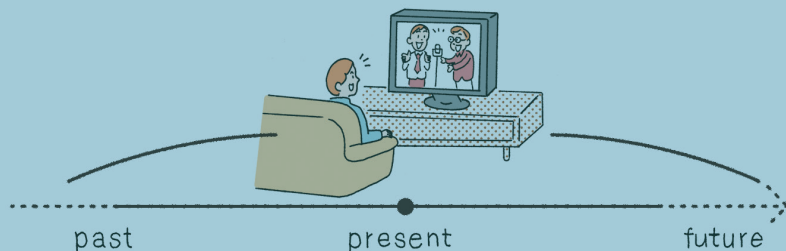
2 現在進行形

1. 動作動詞の場合

1-1. 〈今している最中・途中であること〉

4 He **is watching** TV now. 彼は今、テレビを見ている。 52

5 They **are living** in temporary housing now. 53
彼らは今、仮設住宅に住んでいる。



現在進行中の動作を表す場合に用いられる。4と比較して、He **watches** TV. とすると、「日常的な習慣としてテレビを観る」ということで、今実際に観ていることにはならない。

類例 The alarm clock **is ringing**. 目覚まし時計が鳴っています。
Probably, Tom **is taking** a bath. トムはたぶん入浴中です。

She should **be working** in the office.
彼女は職場で仕事のはずだ。

My father **is washing** the dishes in the kitchen.
父は台所で皿洗いをしているところです。



1-2. 〈ある期間にわたってしている最中・途中であること〉

6 She **is doing** yoga these days. 彼女は最近、ヨガをやっている。 54

現在進行形は、今という瞬間のことだけを言うのに使うわけではない。一定期間、ある行為を行う習慣がある場合にも使える。ただし、現在形ほどの永続的な習慣を表すわけではない (▶ p.71; 2-1)。

類例 What **are you doing** to keep fit these days?
健康維持のため、最近何をしていますか。

I **am walking** home from work once a week.
週1回職場から家まで歩いています。

※いつまで続けるかはわからないが、ここ最近そうしている、というニュアンス。

1-3. 〈ある状態に変化している最中・途中であること〉

2. 状態動詞の場合

2-1. 〈一時的な状態を表す場合〉

12 Tom is living with cancer. トムはガンを抱えて暮らしている。

60

状態動詞でも、話し手が〈一時的な状態〉だと考えている場合には進行形が使われる。この場合でも、進行形の本質である「最中・途中」という感覚から「まだ終わっていない」が「いずれ終わりがくる」ので「今の状態は一時的」である、というニュアンスがある。

【!】 次の2つの例を比べてみよう。

He **is living** in this apartment now.

彼は今はこのアパートに（一時的に）住んでいます。

He **lives** in this apartment. 彼はこのアパートに住んでいます。

現在形だと、ある程度長い期間住んでいる（そしてその状態が続く）と思って言っていることになる。

類例 Our house **stands** at the top of the hill.

我が家は（恒久的に）丘の上に建っている。

He **is standing** at the crossroads.

彼は（一時的に）十字路に立ちつくしている。

2-2. 〈状態動詞で使われることの多い動詞が「動作」を表して進行形になる場合〉

13 Johnny is thinking about joining the band.

61

ジョニーはバンドに加入しようかと考えている。

状態動詞で使われることが多い動詞でも、動作動詞として違う意味で使われ、進行形になることがある。think (that) S'+V' は普通、状態動詞〔ある状況に接して「(自然と) …と思う」という意味〕として扱われるが、think of [about] ...「(積極的に) …のことにについて考える」というときには、動作動詞扱いになり、進行形で使うことができる。



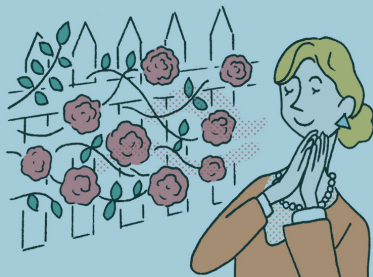
類例 The pizza **smells** so nice. [状態]

このピザはとてもいいにおいがする。

She **is smelling** roses in the garden.

[動作] 彼女は庭でバラの香りをかいている。

I **have** a brand-new smartphone.



〔状態〕 私は最新型のスマートフォンを持っている。

Are you having a good time at this party?

〔動作〕 このパーティ、楽しんでいますか。

I can **see** the mountain. 〔状態〕 山が見えます。

You **are just seeing** the things. 〔動作〕 それはただの幻覚だよ。

He **looks** young. 〔状態〕 彼は若く見える。

She **is looking** out of the window. 〔動作〕 彼女は窓の外を眺めている。

発信のヒント want の進行形

I've **been wanting** to be a baseball player.

私は野球選手になりたいと熱望してきました。

You have to make clear what you've **been wanting** to ask before the interview.

インタビューの前には、自分が相手に何を聞きたいと思ってきたのかを明確にしておかなければなりません。

want は「思考・感情を表す動詞」に分類される状態動詞なので、原則的に進行形にならない。しかし、長い間待ち望んでいる気持ちを強調する場合には、上のように進行形が使われる場合がある。



2-3. 〈am/are/is + being + 形容詞〉

14 Paul is being selfish today. ポールは今日は身勝手なふるまいをしている。 62

状態動詞の be 動詞+状態を表す形容詞は、主語についてある程度、恒常的な性格を述べる場合に用いられるが、行為を暗示する形容詞を用いて進行形にすると、今日は一時的にそういう行動をとっているという意味になる。普段ポールは自己中心的な性格ではないが、今日は自己中心的に振る舞っている、という意味。Paul is selfish. だと「ポールは（いつも）自己中心的だ」という性格を表す。

コーパス 進行形でよく用いられる形容詞

careful, funny, (dis)honest, foolish, kind, naughty, **nice, polite, ridiculous, rude, selfish, serious, sick, silly, stupid** など

類例 She is just **being** kind to me. 彼女は、今私に親切にしてくれているだけだ。

※ She **is** kind to me. だと「彼女は（いつも）私に親切だ」という性格のことを言っている。進行形を用いると、彼女はいつもはそうではないのに、意図的にそういうふりをしているということを含意することがある。

2-4. 〈変化を表す場合〉

She is resembling her mother more and more every day.

彼女は日に日に母親に似てきている。

状態動詞だが、次第に変化していく様子を表す場合は進行形になる。「…に似ている」(=resemble) という意味の状態動詞なので通常は進行形にしないが、この文では毎日の変化の样に触れたいので現在進行形で表す。

類例 I'm **forgetting** things these days.

最近物忘れがひどくなってきている。

【！】 一般には進行形にしない状態動詞をあえて進行形で用いて、少しずつ変化していく様子や強い感情を表すことがある。

This is excellent. I'm **loving** this.

これはすばらしい。どんどん好きになっていく。



2-5. 〈丁寧さを表す場合〉

I'm hoping the computer will be repaired by Monday.

そのコンピュータは月曜までに修理できるとよいのですが。

現在進行形の特徴のうちの1つは〈一時的であるということ〉(▶ p.71; 2-1)。そこから、今私が願っているのは一時的なことで、いつまでも願っていることではないのです、何ならその気持ちを今すぐにでも変えることはできます、という思いで発言している。そこから、I hope ... と言うよりも押し付けがましくなくて丁寧な感じがする。

発展 丁寧表現としての進行形や過去形



I am wondering if you could help me with my homework.

宿題を手伝っていただけませんか。

I wonder if you could help me with my homework. と言っても基本的な意味は変わらないが、断定的な表現となり、断りにくい雰囲気となる。進行形にすることで(wonder へといたる「途中」であることを暗示するので)断定が弱められ、より丁寧な表現となる。

過去進行形にして **I was wondering** ... とすると、さらに丁寧さが増す。実際には現在のことについて述べているのに、時制をずらして過去形にすることによって「今はもうそんなことは考えていないのですが…」といった控え目な態度を暗示することになるから。

I was wondering if you have any comments on my blog.

私のブログについて、何かコメントなどいただけたらと思っていたのですが。

I was hoping to hear from you if you have any free time.

お手すきの折がありましたら、ご連絡いただけましたらさいわいです。

発展 動作動詞と状態動詞

- ・ **動作動詞**：一般には eat, play, run などの動きを表す動詞を表すが、wait のように明確に動きを表さないものも指す。ポイントは「①しよと思えば自分の意志でできる行為」、または rain, grow などのように「②始まりや終わり、変化を認識することができる」動詞。
- ・ **状態動詞**：ある状態が一定程度継続していて「はっきりと始まりや終わり、変化を認識することができない」動詞。

ポイント

1) 動作動詞は〈命令文〉で使うことができる。(②については不可能)

Walk faster! Run! もっと速く歩け! 走るんだ!

2) 動作動詞は〈進行形〉で使うことができる。

They **are studying** English very hard.

彼らは一所懸命に英語の学習をしている。

It **is raining** outside. 外は雨が降っている。

〔←一時的なまとまり（継続）を考慮することができる〕

Dynamic
or
Stative?



一方、状態動詞は通例意志とは関わらないので〈命令文〉にはしない。また一時的なまとまりを考慮することもできないので、普通は〈進行形〉にもしない。

状態動詞は以下の3つに大別できる。

- 1) 継続的状态を表す: be / belong / contain / exist / have / resemble など
- 2) 心理・思考を表す: believe / hate / know / like / love / remember / understand など
- 3) 知覚を表す: feel / hear / see / smell / taste など

ここが Point! 〈can+ 知覚動詞〉



can+ 知覚動詞は、現在進行形とほぼ同じ意味を表す。現在の能力を言っているだけでなく、その行為が今、実際行われているという意味で用いられる。

I **can hear** your heartbeat. 君の鼓動が聞こえる。(→ p.197)

練習問題 2: カッコ内を埋める適切な語句を選択しなさい

→解答 p.74

- ① 彼女はバドミントン部に所属している。
She () the badminton club.
① is belonging to ② belongs to
- ② 君がどう感じているか分かっているよ。
I () how you feel.
① know ② is knowing
- ③ 私は猫と犬を飼っている。
I () a cat and a dog.
① have ② am having

Stative verbs!



練習問題 3: カッコ内を埋める適切な語句を選択しなさい

→解答 p.74

- ① 「タケルはどこですか」「彼は今食堂で昼食を食べています」
“Where is Takeru?” “He () lunch at the cafeteria.”
① has ② is having

2 過去を表す

1 過去形

過去形は「(現在と切り離された) 過去の状態や出来事・動作」を表す。

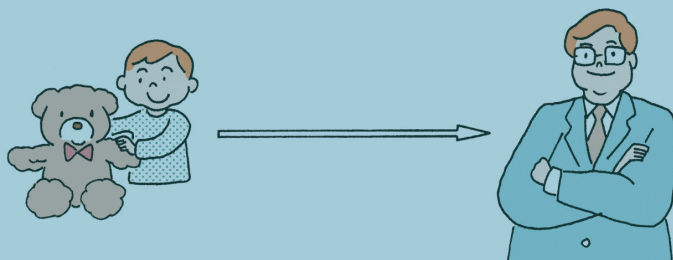
15 He **liked** a teddy bear when he was very young. 63

彼は幼い頃、縫いぐるみのクマが好きだった。

16 She **left** school early today. 彼女は今日、学校を早退した。 64

17 They **practiced** after school every day before the tournament. 65

彼らは大会の前は、毎日放課後に練習した。



過去形の表す意味は、主に次の3つ。

《1》過去の状態

状態動詞の過去形は、一定期間続く〈過去の状態〉を表すのに用いられる。15の場合、過去形を使うことで「今は違う」という意味になり、「今は縫いぐるみのクマが好きではない」と解釈されうる。

【!】 現在と対比して、「(今は違うが) かつては…だった」という意味合いを明確にする場合は、助動詞 **used to** を用いる (→ p.130)。

類例 We **loved** chocolate ice-cream when we were kids.

私たちは子どもの頃チョコレート味のアイスが大好きだった。

I **lived** in New York when I was a child, and now I live in Tokyo.

私は子どもの頃ニューヨークに住んでいて、今は東京に住んでいます。

《2》過去の動作

動作動詞の過去形は、**1 回限りの過去の動作**を表すのに用いられる。

類例 He **wrote** a new book. 彼は新刊を執筆した。



Ken **waved** his hand from the car. 健は車から手を振った。

Bob **took** my hand and **led** me to the classroom.

ボブは私の手を取って教室まで連れて行ってくれた。

Jane **bought** a dictionary last Monday.

ジェーンはこの間の月曜日に辞書を買った。

動作動詞の現在形は〈習慣的な行為〉を表す。

She **goes** to school early every day. 彼女は毎日早く学校に行く。

これに対して、16のように動作動詞の過去形は〈1 回きりの行為〉も表すことができる。

《3》過去の習慣的・反復的動作

17の practiced のように、動作動詞の過去形は、過去の習慣的・反復的動作を表す場合にも用いられる。

過去形の基本



《1》状態 《2》動作
《3》習慣・反復動作



類例 We **walked** to school every morning.

私たちは毎朝学校まで歩いて通っていた。

動作が〈習慣的なもの〉か〈1 回きりのもの〉かは通常、文脈で判断できる。

〈習慣的なもの〉の場合、usually, often, every day など頻度を表す表現を伴うことが多い。

I **often watched** movies at weekends. 私は週末になるとよく映画を観た。

過去形だけでなく、助動詞 would, used to を用いて過去の習慣や反復動作を表すこともできる (→ pp.130-131)。

2 過去進行形

18 I **was having** dinner when she called me.

66

彼女が電話をくれた時、私は夕食の最中だった。

過去進行形は〈was [were] + doing〉の形で、過去のある時点で進行途中・継続中の動作を表す。

現在進行形の基準時が「現在」から「過去のある時点」に移ったと考える。

類例 Kenzo **was studying** math on Sunday morning.

賢三は日曜の午前中ずっと数学の勉強をしていた。

While we **were playing tennis**, it started to rain.

私たちがテニスをしていたら雨が降り出した。

When I **was doing** my homework, Tom gave me a call.

宿題をしていると、トムが電話をかけてきた。

Tom suddenly got mad when we **were talking**.

おしゃべりしているとトムが突然激怒した。

これに対し、過去形では「夏の間のある期間だけ」(for some time during the summer) 旅行したという意味にもなりうるので、必ずしも夏の間ずっとインドを旅行していなくてもよい。過去進行形の方が、ある一定期間にわたって続く行為を強調しているのである。

発信のヒント 続・〈過去形〉と〈過去進行形〉の違い



- a) When we arrived, Jane **made** some tea.
b) When we arrived, Jane **was making** some tea.

これら2つの文では次のような違いがある。

- a) では「私たちが到着してから、ジェーンが紅茶をいれてくれた」
b) では「私たちが到着したとき、ジェーンは紅茶をいれている最中であつた」

練習問題4：カッコ内の動詞を適切な形に変えなさい

→解答 p.77

- ① スマホを使いながら運転してはいけない。
Don't use your smartphone while you (drive) your car.
- ② 2日前駅で君を見かけたよ。
I (see) you at the station two days ago.
- ③ 母が帰ってきたとき私は宿題をしていました。
When my mother got back, I (do) my homework.



3 未来を表す

英語の動詞には現在形と過去形という2つの形しかなく、will や is [am, are] going to や現在進行形 (is [am, are] doing) などを使って現在形で未来を表すことになる。

1 will

- 19 They **will** graduate next year. 彼らは来年、卒業する。 67
20 I **will** buy a canned coffee. 缶コーヒーを買おう。 68

〈will + 動詞の原形〉には、以下の2つの基本的な用法がある。

《1》単純未来 (19)

主語や話し手の意志に関係なく、自然に起こるであろうことを述べる。この形は、(根拠はないが確信度はかなり高い) 〈推量・予測〉にも使える。

19' ≡ They **graduate** next year.

They **are going to** graduate next year.

《2》意志未来 (20)

その場で決めた**主語の〈意志〉**を表す。1 人称主語で用いられる用法である。

類例 I **will** see you tomorrow. 明日会いましょう。

Believe me, I'll never break my promise.

信じてください、私は絶対約束は破りません。

We **won't** trust you anymore. ぼくたちは君のことはもう信じない。

【!】 1 人称 (I / we) が主語の場合、《主に英・やや古》では単純未来で、《かたく・やや古》では意志未来で、shall が用いられることがあるが、いずれも will の方が普通。

3

時制
(1)

2 be going to

21 It **will** [**is going to**] rain tomorrow. 明日は雨になるだろう。

69

22 He **is going to** go to a university in Tokyo.

70

彼は東京の大学に行くつもりだ。

It will rain tomorrow ...



It is going to rain tomorrow ...

《1》これから起こりそうだと推量する (21)

現在ある事柄の何らかの兆候があって、これからそのことが起こりそうだと推量するのに使われる。21では、It will rain tomorrow. とした場合は話者の（単なる）推量、It is going to rain tomorrow とした場合は、雲行きなどの現状から判断して、「雨になりそうだ」と推量している。「現状から判断して」という解釈が生まれるのは、is going to の is が現在形で現状を示しているからである。

類例 Something good **is going to** happen to you in the near future.
近いうちにあなたに何かいいことがありますよ。

We are not going to be able to fulfill your needs.
私どもではあなたの要求にはこたえられないでしょう。

《2》決定済みの意志を表す (22)

すでにこれまでにすることを決めていて、その意志を表すために使われる。

I'm going to be a surgeon. 私は外科医になるつもりです。

I'll be a surgeon. と言うと、今その場で外科医になることを決めたことになる。

類例 What **are you going to** do this weekend?

今度の週末は何をするつもりですか。

※ 〈**be going to**〉は、《くだけで》で **going to** の部分が **gonna** のようになることもある。特に《米》ではその傾向が強い。

原理 〈**be going to**〉は未来を表す形であるが、〈**was [were] going to**〉となると過去の一時点から見た未来のことを表す。実際はそれを実行しなかったということを示す場合も多い。

I was going to join the school soccer team.

私は学校のサッカー部に入部しようと思っていた。

ここが Point! will との共通点と相違点

《1》共通点としては、どちらも**主語の〈意志〉**を表す。しかし以下のような違いがある。

(1) Seems like you are getting tired. **We'll** have a short break in a minute. お疲れのようですね。もうすぐ短時間休憩にしますよ。

〔疲れてきたので、休憩にしようと考えた〕

(2) **We're going to** have a party on Saturday. Why don't you come and join us? 土曜日にパーティを開く予定です。あなたもご一緒にどうですか。

〔あらかじめ予定していたパーティに相手を誘っている〕

(1) **will** : 〈**その場で決めた主語の意志**〉を表す。

(2) **be going to** : 〈**あらかじめ決めていた主語の意志**〉を表す。

※ **will** が 〈**その場で決めた主語の意志**〉になるのは、1人称主語の時である。《話》では I'll, We'll のようにしばしば短縮形で現れる。



《2》共通点としては、どちらも**未来についての〈予測〉**を表す。しかし以下のような違いがある。

- (3) Take this medicine. You **will** get better in a few days.

この薬を飲んでみて。2, 3日でよくなりますよ。

〔薬を飲んだら、よくなるだろうと話し手が強く思っている。特に根拠があるわけではない〕

- (4) The glass is on the edge of the table. It's **going to** fall.

グラスがテーブルの端にあります。落ちてしまいますよ。

〔グラスがテーブルの端に置いてあるので、今にも落ちそうだ〕



- (3) **will** は特に根拠があるわけではないが、〈話し手の強い確信度のある予測〉を表す。

- (4) **be going to** はその時点の状況から〈何らかの根拠に基づく予測〉を表す。言外に「しかし自分にはどうにもできない」ことを暗示する。

練習問題 5：カッコ内を埋める適切な語句を選択しなさい

→解答 p.79

- ① 冷蔵庫に卵がないわ。買いに行ってくるね。

There are no eggs in the fridge. () to buy some.

- ① I'll go ② I'm going to go

- ② 来週中間試験があります。〔予定表に記載されている情報〕

We () have mid-term exams next week.

- ① are going to ② will

- ③ 曇ってきたね。まもなく雨が降るでしょう。

It's getting cloudy. It () rain soon.

- ① will ② is going to



3 未来を表す現在進行形・現在形

23 She **is having** a baby next month. 彼女は来月、出産予定だ。 71

24 The new term **starts** on April 8th this year. 72

新学期は今年は4月8日から始まる。

現在進行形は、**実際の計画や具体的な予定**を表す場合に用いられることがある。形が現在進行形なので、「今何かが進行中である」ということから、比較的近い将来ある出来事が実現される（心理的にも・物理的にも既に準備段階に入っている）という考え方。23では、出産に向けて着実に状況が進んでいることを表している。

2022 April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

類例 My son **is moving** to Tokyo next week. 息子は来週東京に引っ越します。
James **is graduating** from high school in March.
ジェームズは3月に高校を卒業します。

コミュニケーション 言い訳にも使える be going to



Mother: Did you do your homework? 「もう宿題はしたの」

Daughter 1 : I'll do it. 「今からやるよ」

Daughter 2 : I'm **going to** do it. 「今やろうとしてたの」

Daughter 3 : I'm **doing** it. 「もうやってるよ」

Daughter 1 は、母親に言われてからやろうとしている場合。



Daughter 2 は、母親に言われる前から（少なくとも自分の頭の中では）やろうとしていた場合。この子の場合、単なる〈言い訳〉にしか過ぎないという可能性がある。

Daughter 3 は、もう宿題のテキストを運び始めているとか問題を解き始めているとか、何か宿題をやるという行為をし始めている場合。この3番目の子の場合、何か具体的な行動をしていないと使えないところに注意。

【!】 過去のある時から（見た比較的近い）未来を過去進行形で表す場合がある。

My son **was moving** to Tokyo the following week.

息子はその翌週東京に引っ越すことになっていた。

3

時制
(1)

4 未来進行形

未来進行形は〈**will + be + doing**〉の形で、主に次の2つの意味を表す。

25 I **will be relaxing** on the beach in Okinawa next week. 73

来週は、沖縄のビーチでリラックスしているだろう。

26 When **will you be going** back to your country? 74

いつ帰国されることになっていますか。

《1》未来の基準時での動作の進行を表す (25)

25では、「来週」という未来の基準時を設けて、その時に「沖縄のビーチでリラックスしているだろう」という意味になる。〔ただし、基準時は示されないこともある〕

類例 What do you think you'll **be doing** in five years time?

あなたは5年後に何をしていますか。

I'll **be leaving** now. そろそろ帰るよ。

She **will be joining** us shortly. 間もなく彼女が合流することになっています。

My boyfriend **will be arriving** any moment now.

私の彼氏がもうすぐやってくるんです。

By the time we arrive, it **will be getting** dark.

我々が着く頃には、日が暮れかかっていることだろう。

We **will be waiting** by the phone!

電話のそばでお待ちしております。〔通販広告で〕



《2》自然の成り行きとしての予定を表す (26)

26では動作の進行のニュアンスはない。単に、When **will you go** back to ... が主語の意志を問題にするのに対して、自然の成り行きとしての未来を表す。

類例 We should hurry. The train **will be leaving** in five minutes.

急がなきゃ。列車はあと5分で出発だ。

My mother **will be taking** care of my children during the weekend.

週末は私の母がうちの子どもの面倒をみてくれることになっています。

How long **will you be staying**? ご滞在の期間はどのくらいになりますか。

“Do you have a credit card, sir?” “No, I'll **be paying** cash.”

「お客様、クレジットカードはお持ちでしょうか」「いいえ、現金で払うことになります」

The President **will be making** a statement in due time.

やがて大統領の声明が発表されることになっている。

Will you **be buying** a new car? 新車を買われる予定はありますか。